共和町社会福祉協議会

きょうわ社協だより

2026
10月号
VOL.139
ふれあいネットワーク

かかし作成風景

特養みのりの里共和〈準特選〉

デイサービスセンターみのりの里共和〈特　選〉

INDEX

共和町老人クラブ連合会トピック／共和町身体障害者福祉協会トピック
小樽・後志社会福祉協議会会長表彰
インターンシップ受け入れ
共同募金の使い道について／令和７年度募金実績
特養みのりの里共和・デイサービスみのりの里共和の様子
職員募集のお知らせ
社協スナップ（町長・町議会議員がみのりの里共和を訪問）

共和町老人クラブ連合会トピック　パークゴルフを通じて交流を深めました

後志パークゴルフ交流会

共和町パークゴルフ大会

6 月 25 日、黒松内町において「後志地区老人クラブ親睦パークゴルフ交流会」が開催され、共和町から 6 名が参加しました。当日は天候にも恵まれ、青空の下、参加者はパークゴルフを楽しみながら、他町村の老人クラブ会員との交流を深めました。

また、7 月 15 日には共和町老人クラブのパークゴルフ大会を開催し、18 名が参加しました。当日は蒸し暑い一日となりましたが、会員同士で声を掛け合いながらプレーを楽しみました。大会には町長にもご来場いただき、来賓としての挨拶だけでなく、実際に競技にも参加していただきました。

日頃の会員同士の交流はもちろん、町長との交流も図ることができ、和気あいあいとした楽しい一日となりました。今後もパークゴルフなどの活動を通じて、会員同士の親睦を深め、健康づくりと生きがいづくりにつなげていきたいと思います。

共和町身体障害者福祉協会トピック　第61回後志身体障害者福祉大会・第53回後志身体障害者スポーツ交流大会

8 月 19 日、泊村において「第 61 回後志身体障害者福祉大会」および「第 53 回後志身体障害者スポーツ交流大会」が開催され、共和町からも参加しました。

この大会は、後志管内の身体に障がいのある方が一堂に集い、福祉大会やスポーツ交流を通して社会参加の促進と体力の維持・増進を図るとともに、参加者同士の交流を深め、地域共生社会の実現につなげることを目的として開催されています。

当日は、福祉に関する講演に耳を傾けた後、輪投げや幸運レース、じゃんけん大会などのレクリエーションを楽しみました。また、共和町のインターンシップで来町していた大学生 5 名も参加し、参加者と一緒に競技や交流を楽しみました。

世代を越えた交流も生まれ、会場は笑顔と歓声に包まれました。楽しく体を動かしながら、参加者同士の親睦を深めるとともに、地域とのつながりを感じる一日となりました。

各種表彰について　第78回　小樽・後志社会福祉協議会会長表彰

9月 29 日、第 78 回小樽・後志社会福祉大会が寿都町（寿都町総合文化センター「ウィズコム」）で開催され、式典の席上において表彰されました。
共和町からは下記の 2 名の方が受賞されました。

【社会福祉協議会　役員功労者】

役員在職 10 年にわたり、地域住民の代表となり社会福祉の普及・啓発・発展に尽力された功績が顕著として受賞。

〈法人本部〉　監事　伊藤　幹夫

【社会福祉協議会　永年勤続功労者】

職員在職 12 年以上勤務し、社会福祉向上への功績が顕著として受賞。

〈みのりの里共和〉　看護職員　原子　世志子

福祉系大学生・共和中学生のインターンシップ・職業体験を受け入れました。

若い世代に地域の福祉や仕事について学んでもらう機会として、今年も福祉系大学生５名のインターンシップと、共和中学校の生徒１名の職業体験を受け入れました。

大学生は８月17日から23日までの７日間、共和町の事業の一環として、町内のさまざまな福祉現場や地域の取組を体験しました。社会福祉協議会では、地域福祉活動について学んだほか、みのりの里共和の特別養護老人ホームやデイサービスでは、利用者との交流や施設での仕事を体験しました。また、午後からは泊村で開催された身体障害者福祉大会にも参加し交流を深めました。最終日には、共和町の「かかし祭り」も見学し、福祉だけでなく、地域のさまざまな活動に触れる機会となりました。

一方、共和中学校の生徒１名が職業体験のため来所し、デイサービスで利用者の皆さんと交流しました。利用者の話に耳を傾けたり、一緒に過ごしたりする中で、世代を越えた交流が生まれ、利用者の皆さんにとっても楽しいひとときとなりました。

今回の体験を通じて、学生や生徒の皆さんが福祉の仕事や地域で支え合うことの大切さを知り、将来の進路や地域との関わりを考えるきっかけとなれば幸いです。今後も、若い世代が福祉や地域活動に触れる機会を大切にし、次世代の学びにつながる取組を進めていきます。

大学生

模擬カンファレンスの様子

報告会の様子

中学生

体験の様子

みのりの里共和

入浴設備を更新しました

みのりの里共和では、入居者の皆さんに安心して入浴していただけるよう、入浴設備を更新しました。

今回更新したのは、座った姿勢のまま入浴できる中間浴槽と、寝たきりの方などが利用する特殊浴槽の２台です。

中間浴槽は、これまで使用していた浴槽が故障したため、急きょ更新することとなりました。新しい浴槽は、座位のまま入浴できるほか、柔らかなミストシャワーで全身を包み込むように温めることが可能です。また、身体が沈み込まない構造のため、移乗や洗身時の介助も行いやすく、職員がより安全に入浴介助を行える設備となっています。

一方、特殊浴槽については、既存の浴槽が設置から23年を経過していたことから、更新を予定していたものです。新しい浴槽は、全身にミストシャワーが行き渡る構造に加え、首元を覆うカーテンで温かさを保ちながら入浴できるほか、ストレッチャーのままスムーズに進入でき、フルフラットにして洗身などの介助を行うことができます。ボタン操作で入浴を行える機能も備え、入居者の快適な入浴を支える設備となっています。

今回の２台の更新にあたっては、町の負担により整備していただきました。また、設備の更新に合わせて職員研修も実施し、新しい機器の操作方法や安全な入浴介助について確認するなど、万全の体制で入居者の皆さんをお迎えしています。

新しい設備を活用し、これからも入居者・利用者の皆さんが安心して気持ちよく入浴できる環境づくりに努めてまいります。

座位タイプの浴槽

フラットタイプの浴槽

研修会の様子

共同募金の使い道について

みなさまからお寄せいただいた募金は、地域の福祉活動を支える大切な財源です。
今回の北海道共同募金会における使途不明金の発生を受け、共和町の募金がどのように扱われているのか、現在の状況とあわせてお知らせします。

北海道共同募金会で多額の使途不明金が発生

令和８年６月、北海道共同募金会から、共同募金にかかる使途不明金の発生が公表されました。共同募金は、皆さまの善意によって成り立つ、地域福祉を支える大切な運動です。今回の事案は、募金への信頼を損なう重大な事態であり、共和町共同募金委員会としても重く受け止めています。

共和町で集まった赤い羽根募金は、どう使われる？

共和町で集まった赤い羽根共同募金は、いったん北海道共同募金会へ送金されます。その後、計画された募金の使い道に沿って、翌年度に共和町への助成金として交付され、地域の福祉活動などに活用されます。
皆さまからいただいた募金のうち、約７割は共和町のために使われ、残り約３割は北海道全域の福祉活動のために使われます。
共和町では、高齢者、障がいのある方、子どもや子育て世帯などを支える活動に活用されています。

北海道全域では、こんな活動にもつかわれています

北海道全域では、地域福祉を推進する活動、福祉団体や福祉施設への支援、障がいのある方や高齢者などを支える活動のほか、福祉車両の購入や災害時の支援、災害ボランティアセンターの設置・運営などにも活用されています。

歳末たすけあい募金は、年度内に共和町へ

皆さまから寄せられた歳末たすけあい募金は、年末から年度末にかけて、厳しい冬を乗り切るための支援や地域の福祉活動のために、その年度内に活用しています。
赤い羽根共同募金とは異なり、歳末たすけあい募金は、共和町で集まった募金のすべてを共和町のために使っています。
また、年度内に使い切れなかった募金はいったん北海道共同募金会へ送金することとなっていますが、共和町では翌年度へ繰り越すことはなく、皆さまからいただいた善意を、その年のうちに地域へ届け、年末年始や厳しい冬を安心して過ごすための支えにつなげています。

令和８年度の助成について ― 中央共同募金会が緊急支援を実施

北海道共同募金会の使途不明金の影響により、令和７年度共同募金を原資として令和８年度に助成する予定だった北海道内の地域福祉活動に支障が生じています。これを受け、中央共同募金会は、地域福祉活動を停滞させないため、「北海道内の地域福祉活動に対する緊急支援助成」を実施することを決定しました。対象となる活動について、所定の手続きを経たうえで中央共同募金会から助成金が交付されます。

共和町共同募金委員会から

今回の事案により、共同募金への信頼が大きく損なわれたことを真摯に受け止めています。
一方で、地域には共同募金による支援を必要としている活動があります。共和町共同募金委員会では、募金の使い道をできる限り分かりやすくお伝えし、適正な取り扱いと情報公開に努めながら、地域の福祉活動を支えていきます。

※ 次ページでは、共和町で集められた募金が、どのような活動に活用されているかを具体的にご紹介します。

令和７年度募金実績

八十周年
ありがとう。これからも一緒に。

赤い羽根共同募金　1，077，475 円【募金期間 10 月 1 日～12 月 31 日】

歳末たすけあい募金　494，080 円【募金期間 12 月 1 日～12 月 31 日】

※共和町での具体的なつかいみちは、つぎのとおりです。

赤い羽根共同募金（令和８年度助成）　※共和町への助成予定額　758,476 円

- ♣ ボランティア活動の推進
- ♣ 在宅寝たきりの高齢者や障がい者への紙おむつ支給サービス
- ♣ 歩行介助が必要な高齢者への安全杖給付
- ♣ 町を良くする活動への助成（各地区高齢者サロン・シルバーボランティア）
- ♣ 寿大学自治会・母子寡婦会・身体障害者福祉協会の団体活動へ助成金

歳末たすけあい募金（令和７年度助成）　※共和町への助成額　494,080 円

- ♥ 地域住民やボランティア団体による、一人暮らし高齢者との昼食会の開催
- ♥ ホームヘルパーによる一人暮らし高齢者の安否確認等の訪問実施

昼食会の様子

安全杖・おむつ

サロンの様子

共和町共同募金委員会（事務局：共和町社会福祉協議会内）
岩内郡共和町南幌似５７番地１２　電話：0135-73-2731

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

特養みのりの里共和の様子

7月　岩内祭り見学

かき氷やくじを引いて楽しみました!

8月　畑の様子

畑の様子を見ながら、採れたてのミニトマトをパクリ!

9月6日 子ども神輿

前田･幌似･神恵川の3つの神社の子ども神輿が来てくれました!

デイサービスセンター みのりの里共和の様子

7月　手作り焼き饅頭

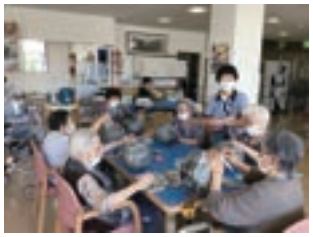
みんなで楽しく手作り!焼きたての饅頭をいただきました!

9月レクリエーション活動

笑顔がいっぱい！
毎日の
レクリエーションを
楽しんでいます!

8月　かかし制作

どんなトトロができるかな?完成を楽しみに作っています!



あたたかい善意のご寄付ありがとうございます

地域の福祉活動や様々な事業に有効に活用させていただきます。ご厚志ありがとうございました。

（令和8年6月22日～9月18日　敬称略）

社会福祉協議会へ

氏　　名	内　　容
田中 ゆり子	おむつ 342 枚

特養 みのりの里共和へ

氏　　名	内　　容
匿名希望	20,000 円
匿名希望	スイカ 4 玉
匿名希望	スイカ 2 玉
匿名希望	トマト 9kg・なす 1kg・きゅうり 1kg
匿名希望	メロン 8 玉
匿名希望	かぼちゃ 11 個

デイサービスセンター みのりの里共和へ

氏　　名	内　　容
山中敏夫（のべ6回）	スイカ 22 玉
匿名希望	コピー用紙 100 枚・写真用光沢紙 50 枚
匿名希望	メロン 2 玉

～心温まる農作物のご寄付～

毎年、農作物を寄付してくださっている発足の山中敏夫さんから、今年もスイカをたくさんいただきました。今回は、のべ 22 玉ものスイカをご寄付いただき、利用者の皆さんでおいしくいただきました。

これまでもカボチャなど、季節の農作物をたびたびお寄せいただいています。毎年の温かいお心遣いに、心より感謝申し上げます。

山中さん、いつもありがとうございます!

募集のお知らせ

共和町社会福祉協議会 募集1名「介護支援専門員」

令和９年４月採用

■勤務地
共和町居宅介護支援事業所
(共和町役場内)

■要　件
・普通自動車運転免許（必須）
・就業時間／8:30～17:15
・休日/週休２日制（土・日・祝）

共和町社会福祉協議会 募集1名「訪問介護員」

■勤務地
共和町訪問介護事業所
(共和町社会福祉協議会内)

■要　件
・普通自動車運転免許（必須）
・就業時間／8:30～17:30
・休日/週休２日制（土・日）

みのりの里共和 募集2名「介護職員」

■要　件
・就業時間
① 7:00～16:00
②10:15～19:15
③11:30～20:30
④20:30～翌7:30
・休日/シフト制
（月９日休日）

《採　用　方　法》面接試験（面接日は申込みされた方に別途お知らせします）

《申込・受付方法》書類【①写真付きの履歴書　②資格を証明する書類】を揃え、介護支援専門員・訪問介護員は共和町社会福祉協議会へ持参または郵送してください。
介護職員はみのりの里共和へ持参または郵送してください。

※詳しい募集内容は、ホームページもしくはハローワークインターネットサービスで公開させておりますので、そちらをご覧ください。

申込・問合わせ先　共和町社会福祉協議会▶☎73-2731　みのりの里共和▶☎71-2580

特別養護老人ホーム みのりの里共和
入居のご相談を受け付けています

特別養護老人ホーム「みのりの里共和」では、入居を希望される方のご相談・お申し込みを随時受け付けています。

現在、入居についてご案内できる状況となっておりますので、「特別養護老人ホームへの入居を考えている」「今後の生活について相談したい」という方は、ぜひお気軽にご相談ください。

入居の対象は、原則として要介護３以上の方となります。ただし、要介護１・２の方についても、心身の状況や生活環境など、一定の要件に該当する場合には入居できる場合があります。

ご本人やご家族からのご相談をお受けし、入居に関するご説明や手続きについてご案内いたします。まずはお気軽にお問い合わせください。

《お問い合わせ・ご相談》特別養護老人ホーム　みのりの里共和　☎0135-71-72580

心配ごと相談について

日々の暮らしの中で生じるトラブルや困りごと。
ささいな悩みごとでも一緒に解決する方法を探します。お気軽に相談ください。

■定例相談

月　日	時　間	場　所
10月21日	10～14時	生涯学習センター研修室
12月 9日	10～15時	〃

■特設相談所等の開設

※総合相談日として人権相談・行政相談も行われます。

月　日	時　間	場　所
12月 9日	10～15時	生涯学習センター研修室

【相談員】心配ごと相談員　中村　道子

社協スナップ

町長・町議会議員の皆さんがみのりの里共和を訪問

７月２日、町長による主要事務事業調査が行われ、みのりの里共和を訪問されました。また、７月７日には町議会総務厚生常任委員会による所管事務調査が行われ、委員の皆さんが来所されました。

主要事務事業調査は、町が行っている主要な事業の実施状況や今後の方向性などを確認するための調査です。また、所管事務調査は、町議会の各常任委員会が担当する分野について、事業の状況や課題などを調査するものです。

当日は、施設の運営状況や事業内容について説明を行い、施設内の様子をご覧いただきました。調査の合間には、町長や議員の皆さんが利用者の方々に声をかけ、日頃の生活の様子などについて話をする場面も見られました。

今回の訪問を通じて、施設の現状や利用者の皆さんの様子を直接知っていただく貴重な機会となりました。今後も町や町議会との連携を大切にしながら、地域に必要とされる施設運営に努めてまいります。

町長による主要事務事業調査の様子

総務厚生常任委員会による所管事務調査の様子

編集発行／社会福祉法人 共和町社会福祉協議会 共和町保健福祉センター内
〒048-2202 北海道岩内郡共和町南幌似57-12　TEL（0135）73-2731　FAX（0135）73-2363
URL　https://kyowacho-fukushi.jp
Email:honbu@kyowasyakyo.jp
きょうわ社協だより　2026年10月号　VOL.139